

日本とフィリピンのお米のちがい

上流市立大野小学校三年中島愛

私は、この夏休みに一か月お母さんのふるさとのフィリピンにいってきました。

わたしは、日本とフィリピンのごはんの味のちがうことにびっくりしました。フィリピンについて、レストランでごはんをおかきをお母さんが注文をしてくれました。わたしはおながかすいていたので早くごはんをおかきかこないかなーと思っていたら、ごはんとお

かがかきたのでお母といっしょにたべました。でも、日本のおこめとフィリピンのお米がちがうと思いました。フィリピンのお米は、なかくばらばらでした。日本のお米は、みいかく、ねぼりがあると思いました。

フィリピンのお米は、味があまりしないのにくらべ日本のお米は、甘いかんじがしました。フィリピンのお米と日本のお米のちがいかかりました。フィリピンの農家の人たちも一年間、あついでいっしょうけんめい

にあせをながしなからお米を、作ってみんな  
 に「ごはんおいしいね」と言ってもらうため  
 にい、しょうけんめいおこめをつくっている  
 と思ったから「このごはんおいしくない」とあ  
 たりは、言う事が出来ないと思いました。

わたしのおとうさんおかあさんもみんなに  
 「おいしいね」といってもらうため朝、早く  
 から夜おそくまでしごとをします。あた  
 しは、みんなに「感じ」をしながら「イリピ  
 ツで」ごはんをたべました。一つがのお米をつ

くるのに日本めうイリピンの農家の、たちが  
 あせをながしあつたしのお父さんお母さん見た  
 いにい、しょうけんめいにし事をして、あつ  
 とあつたしの口の中にはいるごはんにかんじ  
 をしてお米をたべたいと思いました。8月26  
 日に日本に、帰って来て、お母さんかおに  
 りをかつてあつたしは、おにぎりをたべた時に  
 め、と日本にかえって来たと思いました。あ  
 にきりほしお死すまでとておおいしくひかひ  
 かと光っていました。やっぱりごはんがすき。